

やまなしの青少年

社団法人 青少年育成山梨県民会議

〒400-0811 甲府市川田町517番地 山梨県青少年センター内 電話:055-287-6415 FAX:055-237-5312

URL <http://ikusei-yamanashi.net> Mail ikusei@eps1.comlink.ne.jp



第33回通常総会の概要

平成23年5月25日、県立青少年センターにおいて、第33回通常総会が約170名の会員、関係者の皆さんが出席して開催された。

はじめに、会長を退任された大澤英二前会長からご挨拶があり、その後、種田一夫新会長から大澤前会長に多大なるご功績に対して感謝状が贈呈されました。

次に、種田新会長の挨拶、来賓を代表して県教育委員会瀧田武彦教育長の祝辞、参与の方々の紹介がされました。その後、総会議長に甲府市の剣持武範氏を選出し、議事の審議に入りました。第1号議案、平成22年度事業実施報告及び収支決算報告について、第2号議案、平成23年度活動方針と重点目標(案)、同事業計画案及び収支予算案についての両議案がそれぞれ満場一致で承認されました。続いて第3号議案、一部役員を選任(案)についても満場一致で承認されました。次に、第4号議案、名誉会長の委嘱について上程され、大澤英二氏を満場一致で名誉会長に委嘱することが議決されました。

続いて総会関連行事として、青少年・青少年育成功労者等の表彰が行われ、善行表彰等個人18名、育成団体2団体が表彰されました。続いて、県教育委員会社会教育課長の上笹純夫氏と県警察本部少年サポートセンター所長補佐の三井幹雄氏の両氏の講演がありました。

目次

第33回通常総会	1
青少年・青少年育成功労者等表彰	2・3
シリーズ「子ども・若者の底力を信じて」	4・5
青少年主体の地域活動を紹介します	4・5
ルポ・健やかに育て山梨の青少年「県子どもクラブ指導者連絡協議会」	6
●市町村民会議等紹介	
●青少年育成講師派遣事業	7
●投書欄「読者の声」	
●県民会議会員募集	
●困ったときに役立つサイト	
●編集後記	8

青少年・青少年育成功労者等の表彰式が開催される





あいさつ

社団法人青少年育成山梨県民会議
会長 種田一夫

県民会議活動のシンボリックな存在でありました大澤英二会長の功績に感謝申し上げ、地域の育成活動にご尽力頂いております多くの方々に心からの敬意を表します。微力な私ですが、甲府市民会議に携わっていません経験を生かして活動の充実のため務めたく存じますので、ご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

核家族化や情報化が進む中で、社会性をなくしてしまった子どもたちが多くなったことが指摘され、人間性豊かな青少年を育てるためには、地域の教育力の再生の重要性が強調されています。

しかし、地域の連帯感が失われつつある現在、活動の活性化は容易ではなく、加えて、国民会議の解散や、県民会議の財政問題や新公益法人への移行、後継指導者の育成、さらに構成団体のネットワーク作りなど、私たちが克服しなければならない課題が山積しています。

大震災の中で示されました思いやりの心を大切にする日本人の生き方に、私たちは育成活動の充実や地域共同体の再生の可能性を強く感じます。

青少年の育成事業が長期的な見通しを持って展開され、県民一人一人が地域の育成活動に参画して頂くことが大切であると考えます。

不易流行の心構えで、社会や家庭、子どもたちの変化に対応した活動を着実に実施し、青少年総合対策本部や関係諸団体との連携に努め、県民会議は本県の青少年の健全育成の中核をなしているという役割を果したく存じます。県民会議活動に皆様の一層のご理解を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。



会長職退任感謝のこトバ

社団法人青少年育成山梨県民会議
名誉会長 大澤英二

私どもの身近にいる子ども、若者、青少年が、たくましく心豊かに成長して欲しいと願う大人たちの思いを結集して形づくられたのが青少年のための山梨県民会議でありました。私は光栄にも、その始めの時からかわらせていただきました。昭和42(1967)年のことで、数えてみると44年にもなります。いささか感慨無量です。

激しく変化する社会環境の中を生き抜く山梨の青少年に対して、というよりは青少年と共に皆さんと一緒に歩み続けてくる事が出来たので一寸思い出深いものがあります。他の一般の仕事とは異なった性格の活動ですから一寸評価しにくいところがありますが、着実に進められて今日に至っておりますことは大変喜ばしいことであります。平成4年には法人化され、従前にも増して山梨県の青少年健全育成事業を展開しております。

この40数年の中では、様々な事業、活動が実施されて参りました。殆どの事業が今なお継続されているのを見るに付け、ひとつとして無駄のものは無く、青少年育成に役立ってきたことは心強い限りです。十年一日のごとくと言いますが、継続は真に力です。とりわけ青年たちを海外に送る事業は40年もの長きに亘って継続実施できたことに感謝したい。参加青年による事後活動が功を奏し、県内外で優れたリーダーシップが発揮されているのを目の当たりにすることくらい嬉しいことはありません。この間、会員の皆様をはじめ、歴代の役員、職員の献身的なご努力、ご支援に対して心からの感謝をささげたいと存じます

終わりに、青少年育成山梨県民会議のますますのご発展と、“大人が変われば子どもも変わる”ことを確信し、地域のおじさん、おばさんであることを誇りに日夜励んでおられる皆さま方の一層ご精進を祈りながら会長退任の感謝の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

「青少年・青少年育成功労者等の表彰」被表彰者・団体一覧

善行表彰(青少年)

氏名	住所	所属団体	表彰対象の概要
たかはし ひろのぶ 高橋 宏暢	甲府市	甲府市青少年ジュニアリーダー	甲府市青少年ジュニアリーダーの中央ブロック代表として、会の運営や研修活動に積極的に参加し、ジュニアリーダー編集委員の責務に携わり、責任感が強く他の模範となっている。今年から復活させた「ふれあい夏祭り」や子どもクラブの「クリスマス会」などでは、育成会担当の菓子作りなどで行事を盛り上げていた。中学では、応援団やバトミントン部として活躍し、高校では、弓道部で活躍。向上心旺盛に活動し、心・技・体を磨いている。
つじ まりな 辻 万里奈	甲府市	甲府市青少年ジュニアリーダー	子どもクラブ等の行事には積極的に参加し小さな子ども達の指導にあたった。中学では青少年ジュニアリーダーとして活動している。毎年実施されている意見発表会では高校生に交じり、ただ一人中学生として参加し「現在の青少年の考え方」などについての意見を発表している。、中学校2年・3年と生徒会副会長に就任し、2008年3月には、宇宙飛行士の土井隆雄士氏と宇田との交信をするなどして活躍し、現在ではジュニアリーダー地区責任者として後輩の指導を行っている。

(五十音順)

自主活動表彰(青少年)

氏名	住所	所属団体	表彰対象の概要
こはやし かずと 小林 和人	北杜市	北杜市子どもクラブJL2000	北杜市子どもクラブJL2000(ジュニア・リーダー)の活動支援にボランティアとして関わり、ご尽力されている。ジュニアリーダー会の指導では、メンバーからの信頼も厚く、他の模範となっている。また市子どもクラブ主催による、夏の中学生キャンプにおいても、ボランティアとして関わり、率先して野外体験活動の指導者を引き受けている。その指導により、参加者が故郷の自然の豊かさに気付いたり、野外体験活動への関心を高めていたりするなど、地域の青少年教育に貢献している。
ながぬま たい 長沼 大	甲斐市	甲斐市敷島子どもクラブ指導者連絡協議会	合併前の旧敷島町時代から、ジュニアリーダーとして成人してからは指導者として、青少年の健全育成活動を行ってきた。地元で活動し、多くの小中高校生の手本となった。その活動は市(町)内にとどまらず、県内各地の大会において自己活動の様子を広く報告し、多くの仲間と活動の目的や成果、課題を共有する姿勢もすばらしいものです。今後も本市の青少年育成活動のために広く活動していくものと期待している。

(五十音順)

■育成指導表彰(指導者)

氏名	住所	所属団体	表彰対象の概要
こみやま よしひろ 小見山 義廣	甲斐市	青少年育成甲斐市市民会議 甲斐市 教島地区民会議	旧教島町時代から、青少年育成推進員として地元の行政区だけではなく(市)全体における青少年の健全育成に尽力された。また青少年の健全育成を含む社会教育全般にかかる活動も盛んである。長年にわたり社会教育委員や公民館運営審議委員会委員を務めた。また地元の教島公民館まつりでは、実行委員長として活躍されているだけではなく、地域コミュニティの活性化にも取り組んでいる。今後も本市の青少年の健全育成活動だけではなく、社会教育全般での活動を期待している。
すずき しろう 鈴木 史郎	上野原市	青少年育成上野原市民会議	長年にわたり、上野原市スポーツ少年団指導者協議会会長及び、青少年育成上野原市民会議の役員を務めるなど、上野原市の青少年健全育成に大きく貢献された功績は多大である。
とおやま よしあき 遠山 善明	笛吹市	子育てネットやつしる	竹居区育成会にて、役員を4年間、会計を2年間務める。育成会では小中学生のキャンプや球技大会などを企画し、育成会の活発な活動に貢献した。子育てネットやつしるの代表として、幼児から中学生まで多くの子どもが集まる八代子どもフェスタでは平成18年から毎年子どもが喜ぶ迷路やおぼけ屋敷を企画運営している。平成22年度は八代地区青少年育成推進協議会高等部会長を務め、愛のハトロールや高校生ボランティアの子どもフェスタへの参加などに尽力している。
ふかさわ やすこ 深沢 尉子	甲斐市	甲斐市教育委員会 生涯学習文化課 双葉公民館	平成13年から青少年育成カウンセラーに就任し、地域の青少年健全育成推進に尽力され、平成14年4月より少年補導委員として補導活動にも尽力された。県カウンセラー会役員として会員の相互連携、研修に努めた。甲斐市発足時には、市民会議の設立に経験を生かし立ち上げに多大な貢献をした。
ふるかわ かずや 古川 一也	山梨市	ボーイスカウト 塩山第1団	昭和45年、ボーイスカウト牧丘第1団でスカウトとして活動を開始した。昭和56年より指導者として登録して現在に至る。牧丘第1団休止後は塩山第1団に移籍登録し現在に至る。ボーイスカウト活動に連続して奉仕してきた。その間、地区役員、県連役員、県連理事として山梨連盟の運営にも大きく関わってきた。峡東地区のボーイスカウト活動の継続発展に寄与するとともに、同地域の青少年育成に深く関わり、多くの健全な青少年育成に尽力してきた。
ほ さか たかふみ 穂坂 隆文	北杜市	白州町卓球スポーツ少年団	旧白州町卓球スポーツ少年団の指導者として、スポーツの指導並びに健全育成に務める。スポーツを通じた地域との交流や奉仕活動、親子レクリエーションにおいて、中心的な役割を担い、スポーツ少年団活動を支えてきた。スポーツ少年団が目的とする「スポーツを通じて青少年のからだところを育てる組織を地域社会の中に実現してきた。平成21年に山梨県で開催された第40回関東ブロックスポーツ少年大会では、3日間にわたり運営に協力するなど、青少年の育成・指導に多大は貢献された。
まえじま ゆみ 前島 由美	北杜市	青少年育成小淵沢地区民会議	青少年育成小淵沢町地区民会議の運営員として、長年にわたり活躍されている。副会長として、地区の各集落を回り集いを開催し、「地域における青少年育成活動の在り方」について、地域住民との話し合いの場を数多く持った。また、各種行事を行う際には、企画段階から青少年が関わるように設定し、大人と子どもが共に地域づくりを行う場づくりに取り組んでいる。また、子どもクラブ主催球技大会に、10年以上にわたり審判として関わるなど、市の青少年健全育成に尽力された。
むとう のりこ 武藤 紀子	市川三郷町	市川三郷町教育委員会	平成13年から青少年育成カウンセラーに就任し、地域の青少年健全育成推進に尽力され、平成17年～20年には県カウンセラー会編集委員、研究委員として活動された。また社会教育指導委員として地域の社会教育団体の活性化に努め、青少年育成環境整備に活躍された功績は多大である。
やまむら たけお 山村 丈夫	甲府市	青少年育成甲府市民会議	スポーツ少年団の指導者として、地区育成協議会の活動と自治会活動に取り組んできた。特に、地区補導委員の責任者として率先して活動し現在に至っている。また自治会内及び相川地区において、子ども達との関わりの機会を増やすよう積極的に展開を図ってきた。現在は、相川地区育成協議会会長として、地区の推進役になると共に、青少年育成甲府市民会議の地域環境部会長として市全体のまとめ役をしている。「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉にして「心の環境づくり」に傾注している。

(五十音順)

■育成指導表彰(育成功労者)

氏名	住所	所属団体	表彰対象の概要
あまの ぎろう 天野 義郎	山梨市	青少年育成山梨市民会議	スポーツ少年団の創設やハンドボール競技を通して青少年の健全育成に努めた。市においては主任児童員として児童虐待防止や子育て支援の啓発運動に力を注ぎ、保育所や学校等との連携強化に努めた。また、青少年育成カウンセラーとして、学校・地域との連携にも力を注ぎ有書自販売機撤去への取り組みや不登校児童生徒との連携に力を注ぎ教育相談の充実、悩み事ホットラインの増設に尽力する。現在は、青少年育成山梨市民会議会長として、若手青少年育成指導者の育成等に尽力している。
いとう たかまさ 伊東 隆雅	南アルプス市	青少年育成芦安地区民会議	芦安子どもクラブ会長、副会長、指導員として20年にわたり、地域の子ども・保護者・住民と深く関わりを持ち、行事の企画・運営に積極的に参加し、指導を行っている。また、小中学校PTA会長、副会長を務め、学校活動にも関わり、地域の青少年健全育成に尽力している。平成15年からは保護司として学校との連携強化を通して青少年健全育成に努め現在に至る。平成20年より現在は芦安地区学校関係者評価委員長として活躍しており、その姿は他の模範となる。この功績は多大である。
かわくぼと みひこ 川窪東海彦	身延町	身延町教育委員会	38年余の教員生活の後、平成14年から青少年育成カウンセラーに就任し、地域の青少年健全育成推進活動に尽力された。平成17年から4年間県青少年育成カウンセラー会会長として青少年育成カウンセラーの資質の向上に努め、この間に青少年教育行政にも参画し、青少年健全育成を推進した功績は顕著である。
ふかさわ ゆきこ 深澤悠紀彦	南アルプス市	青少年育成南アルプス市民会議	長年にわたり、「子どもの安全と子どものための事業」を積極的にを行い、駐在所をはじめ管内学校・教育委員会等の関係機関と地域役職者との連絡調整をはかり、特に、地域での「声かけ・あいさつ運動」は早くから先行先駆者とされている。南アルプス市市施行以来、青少年育成推進員として長きにわたり活躍され、現在、市の会長を務めている。氏は、温厚な性格で責任感も強く地域からの信頼も厚く、青少年の健全育成の意欲と実績は他の模範である。
まるやま ゆきお 丸山 幸雄	大月市	青少年育成大月市民会議	青少年の健全育成を図るため、地域の育成会活動の支援や育成事業に携わり、市民会議のリーダーとして活躍してきた。また、市民会議の会長、青少年委員として子どもたちの健やかな成長を願って白ポスト点検回収活動や有書図書館の販売状況を調査して社会環境浄化活動に努めてきた。駅前キャンペーンでは多くの市民に青少年問題を呼びかけてきた。よって青少年健全育成に貢献された功績は多大である。

(五十音順)

■育成指導表彰(育成団体)

氏名	住所	代表者名	表彰対象の概要
社団法人 ガールスカウト 日本連盟山梨県 第3団	富士河口湖町	団委員長 渡辺世久子	発団当初より定期的に続けている河口湖畔の美化掃除を通して奉仕の精神を養い自然環境を保護する活動に努めている。少女たちはそれぞれの年代に応じた活動に参画することにより自らの能力を発見し資質を伸ばし成長している。
ボーイスカウト 河口湖第2団	富士河口湖町	団委員長 渡辺一文	当団は、県内において町名を付した唯一の団として、その維持、活動は特筆されるものがある。地域行政主催の諸行事への積極的な協力をおとして、地域密着型の活動を展開している。その30年を越える活動は他地域の模範となるものであり、地域の青少年育成に果たした役割は大きい。

(五十音順)

「通学合宿モデル事業」～地域で育つ子どもたち～

韮崎市青少年育成カウンセラー
青木 洋子

韮崎市では、4年前より青少年健全育成事業の一環として第1回目の「武田の里わくわくサマースクール」を皮切りに、地域の小学生が親元を離れ、寝食を共にしながら学校に通う「通学合宿モデル事業」を開催しています。

土日を含む3泊4日の通学合宿は、さまざまな体験学習とともに、起床・ラジオ体操・食事づくり・片付け・清掃・入浴など、プログラムに沿って過ごす共同生活です。日頃便利な生活に慣れている子どもたちにとっては、少々不便さを感じることもありますが、そのことにより、家庭や親の大切さを再認識し、自主性や協調性を学び、地域の人たちへの感謝の気持と仲間と協力して生活することの楽しさを体験します。



また、公民館・育成会関係者はじめ大勢の地域住民が準備

はじめ大勢の地域住民が準備



の段階から協力し、合宿を通して子どもたちの育成に関わることで、地域コミュニティの向上と青少年育成への関心を高め、まちづくり活動の推進につながることを期待されています。

「中学生になっても参加したいから、来年もぜひやってね」と昨年夏実施した穴山地区通学合宿に参加した子どもたちから、こんな声も聞かれました。



地域に育てられた子どもたちの心に残る「通学合宿」の体験が、次の世代の子どもたちを育てる地域の絆となることを願っています。

「田んぼに学ぶ」

甲州市青少年育成カウンセラー
平山 静香

甲州市アドベンチャークラブは、市内小学生が参加する自然体験クラブです。冒険心、開拓心、奉仕の心を基本精神とし、各自が生きる力の育成を目指し毎月の活動に取り組んでいます。6月の活動は「田植え体験」を行いました。

子どもたちは期待と不安な面持ちで指導者より説明を受け、片手に10センチほどに育った稲を持ち、裸足のまま田んぼの中へ入りました。ぬかるみに足を取られなかなか思うように歩けない中、四苦八苦しつ自分の担当の場所まで進み、横一列に並びしっかり踏ん張りラインに沿って一所3本ずつ植えていきました。

1列目がきれいに植わったところで一歩下がり2列目、3列目と植えていきます。足跡が窪み水溜りとなったところは

は地ならしをし、稲が水に沈んだり、浮きあがったりしてしまわぬようにしっかりと植えていきます。

一面が小さな稲で植えつけられると、指導者から「良かんばったね」と声をかけていただきとても得意そうな子どもたちでした。



田植えは子どもたちにとっては大変な重労働になります。しかし、このような体験が感謝の気持ちや物を粗末に扱わない心を育てることが期待できます。

最初は泥のぬかるみに緊張気味で汚れも気になり表情も固かった子どもたちが、何列か植えていくうちに笑顔を見せ始め、慣れてくると泥遊びも始まりました。

思い思いに泥をすくったりつかんだり稲を植えながら、普段経験できない田んぼの感触を十分に学び楽しんだ体験となりました。

子どもや若者が自主的に取り組む社会

シリーズ

育てよう青少年

子ども
底力を

みんなで地域社会づくり



HAYABUSA-BACK TO THE EARTH- 上映会と星のおはなし

笛吹市青少年育成コーディネーター
丸山 嶺 男

笛吹市生涯学習課では、5月29日に、東日本大震災により笛吹市内に避難されている方と市内の小中学生とその保護者を対象に、映画「HAYABUSA-BACK TO THE EARTH-」の上映と「星の語り部」による星のお話と歌を2部形式で実施いたしました。山梨県立科学館でサイエンススクールとして活動している「星の語り部」の皆さんの協力と、有限会社ライブ「はやぶさ」大型映像制作委員会の提供により実施しました。当日は台風の接近で大雨の中にも関わらず、多数の皆さんに参加していただきました。

この映画は、小惑星イトカワに向けて打ち上げられ、約7年間幾多の困難を乗り越えて、母なる地球に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」の奇跡の旅を、CGを駆使して映画化したものです。参加者は、この映画から勇気と希望を与えられ、中には涙を流しながら見ている方もいました。「はやぶさ」の姿を擬人化して見た方も多かったのではないかと思います。当日、小学校低学年と思われる児童もたくさん参加していましたが、静かに鑑賞していました。子ども達も、あきらめる事なくがんばり続けた「はやぶさ」の姿から、多くの事を学んだのではないかと思います。



「星の語り部」による星のお話と歌のコーナーも、視力障害のある方が読めるように作成された絵本「ねえ おそらのあれなあに？」を、視力に障害があるメンバーが朗読し、参加者に感動を与えてくれました。

笛吹市の生涯学習課としては、今後も他の団体との連携を図りながら、地域の青少年の健全育成のために、様々な事業を企画していきたいと考えています。



体験や自然活動などを紹介します。

の主体的な活動

若者の 信じて

りを考えていきましょう。

伝統ある行事が今年も!!

市川三郷町青少年育成カウンセラー
都 築 節 子



スタートした育成会バドミントン大会です。なんと今年の大会は第42回目となりました。数年前までは新春1月に実施されていましたが、高校入試のシステムが変わってからは12月となり、学校が冬休みに入り1週間の練習を経た後に試合となります。男女ダブルスが小低(1~4年1チーム)・小中(5~6年1チーム)・高(中学生2チーム)の計8名が原則チーム編成なのですが、年々の児童・生徒数の減少に伴い地区にばらつきが出てきたので、編成ルールを見直し、より多くの子ども達が参加できるようにと話し合いを持った結果、23チームの出場がありました。狭いコートの中ではお互いにカバーし合い、シャトルを落とさないようラリーを続けながら好プレー・珍プレーを繰り広げていました。

体育館の中の寒さにもかかわらず地区あげでの応援態勢というほほえましい光景を目にすることができました。また、リーダー格の中学3年生の行動にも目を見張るものがありました。



旧三珠・市川大門・六郷の三町が合併し、それと同時に市川三郷町民会議が誕生いたしました。それぞれの地域性があり、また先輩達が培ってきた伝統行事があるということで3地区では地域の特性を生かしながら独自の活動を進めております。

そこで今回は六郷地区の冬の一大イベントを紹介させていただきます。異年齢の集団活動を通して自主的連帯感を養い、会員総合の親睦を深め、健全な心身を養うことを目的とし、とりわけ練習の過程の中で、思いやりの心、各自の責任の遂行、助け合いのすばらしさ等を経験しながら集団意識を高めようと



首都圏の子供たちとの交流イベント

夏休みふるさと子どもランドカーニバル



山梨県子どもクラブ指導者
連絡協議会
会長 深澤 英明 氏

平成23年度目標

- 1 地域に根ざした魅力ある子どもクラブの活性化を図る
- 2 安全教育の徹底と充実を図る
- 3 J・L及び青年指導者層の拡大と資質の向上を目指し、研修事業を推進する

山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会と東京山梨県人会で組織する実行委員会が実施する「夏休みふるさと子どもランドカーニバル」をご紹介します。

このカーニバルは今年で28回を迎えます。

県内出身で東京（首都圏）在住の親子と県内子どもクラブの会員が自然の中での集団宿泊生活を経験しながら、互いの友情を深め自然や郷土に対する理解を深めることを大きな目的としております。

昨年は、県内の小学生と首都圏の子供達、指導者、育成者、保護者、山梨のジュニアリーダー、総勢約80名が参加されました。

会場は、例年八ヶ岳の少年自然の家を拠点に2泊3日で交流を深めています。

プログラムは、盛りだくさんです。

1日目、オリエンテーリング、夕べの集い、野外炊飯、ナイトハイク

2日目、キープ自然学校で学習、工作、八ヶ岳周辺ハイキング、キャンプファイヤー

3日目、清掃活動、清里散策 午後解散

子どもたちにとっては、普段なかなか味わえない体験であり、様々な感想が寄せられていますが、みんながみんな非常に充実した思い出に残る3日間であったと寄せています。



「山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会」

今日、子ども達を取り巻く環境は、少子高齢化、高度情報化、国際化の進展など社会構造が大きく変化してきている中で、子ども達が被害者あるいは加害者となる事件の頻発、児童虐待の増加、いじめや不登校の問題、有害情報の氾濫等により、子ども達の健全な成長を阻害する状況があります。こうした中で、次代を担う子ども達が心身ともに健やかに成長することを節に願い、紹介した、この様な事業活動を長年続けているのが「山梨県子どもクラブ指導者連絡協議会」であります。

会長の深澤英明さんの弁をおかりしますと、子ども達が問題を起こす一の原因は、大人社会の歪みの中で戸惑っていることであり、それらの子ども達の為にも、子どもクラブ育成活動の果たす役割は大きいと。

また、子どもクラブの活動は、子ども自身の興味、関心に基づいて行われ、地域を基礎とした異年齢集団が活動単位であり、活動内容に健全な遊びの要素があることから、計画、継続的に体験することにより、幼児期の自立心、少年期の活動性や自立性などの発展課題を達成することが期待されているともおっしゃっておられます。

こうした理念に基づき、子どもクラブの自主的な活動を促進し、もって児童生徒の健全な育成と福祉の向上をはかるため、年間を通して様々な活動を実践されている県子連に対して改めて、敬意を表するとともに、今後の更なるご活躍をご期待するところであります。

平成23年度

夏休みふるさと子どもランドカーニバル

日時 8月4日～6日

場所 山梨県立八ヶ岳少年自然の家

内容 ナイトハイク、キャンプ、ハイキング、工作、
キャンプファイヤー

((社)青少年育成山梨県民会議 事務局)

地域を支える市町村民会議と町村の取組

甲州市民会議

【会長】 廣瀬 国光 氏
(平成23年5月26日就任)
【設立】 平成18年11月17日
(市町村が合併して甲州市となったため)

【組織】
役員として17名
青少年育成会連絡協議会
青少年育成推進員会
甲州市小中学校PTA連絡協議会

【事務局】
甲州市塩山上於曾1085-1
甲州市教育委員会 生涯学習課

【目的】
青少年問題のもつ重要性をかんがみ、広く市民の総意を結集し、青少年の健全育成と青少年育成諸団体の連絡提携を図り、青少年の健全育成を推進することを目的とする。

【活動】
甲州市及び教育委員会が策定した
甲州市親のあり方十か条(平成19年10月10日)
甲州市 子ども十の誓い(平成18年8月17日)
甲州市子ども憲章(平成18年8月26日)を取り入れて取り組んでいる。

また、大和、勝沼、塩山の3地区それぞれの特色ある事業の継続を図りながら甲州市全体で取り組む事業への展開を積極的に企画している。

- 1 青少年の健全育成を図るための活動
- 2 青少年健全育成のための市民の意識を高める活動
- 3 家庭の健全化と社会環境浄化のための活動
- 4 青少年指導者の養成とその資質の向上を図るための活動
- 5 健全な青少年団体及びグループの育成のための活動
- 6 その他 この会議の目的を達成するために必要な活動



廣瀬国光会長

早川町青少年育成活動

【合言葉】
BACK TO SHOWA !
～あの昭和時代のような学校、家庭、地域の三者連携を目指して!～

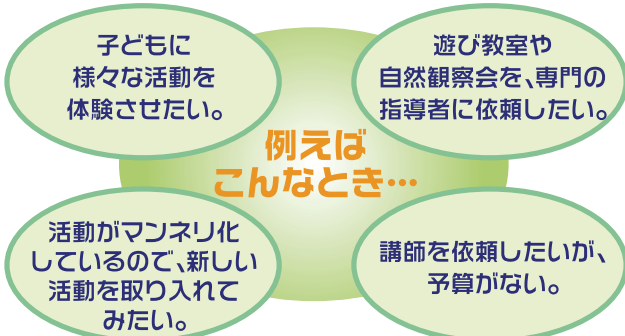
【目的】
青少年の今日的な課題を意識し、それらに対して適切に対応するため、現代の青少年の立場を大切に考え、『大きな声であいさつをする』『ふるさとを愛する気持ちを大切に』などの基本的なことを青少年たちに再確認させ、地域の大人もその大切さを改めて見直し、学校・家庭・地域が一体となって行動していく。また、様々な青少年活動を通して、三者が連携し、さらにその連携を強固なものにするために関係機関及び関係団体を加えて、次代を担う青少年の健全な育成を図っていく。

【事業の内容】
①広報啓発活動
・啓発ポスター掲示
②子ども・若者の社会参加活動
・社会福祉施設(長寿苑)のお年寄りとの交流
・社会福祉施設(長寿苑)のお年寄りに敬老の日に向けての手紙を書く
・各地区体育祭に参加
・わかば特別支援学校との交流
・早川クリーン活動(小・中・保護者・教師)
・『家庭の日』『青少年を育む日』に関するポスター、作文、標語の応募
・『生涯学習の集い』に参加
・親子のふれあいグラウンドゴルフに参加

【今後の目標】
BACK TO SHOWA!を合言葉として、学校、家庭、地域の三者連携とあいさつ、そしてふるさとを愛する気持ちを強く持ちながら、それぞれの役割を再確認し、地域に根付いた活動を行っていく。

随時受付しております(事業実施2週間前まで)

「青少年育成講師派遣事業」をご利用下さい



派遣の流れ

講師名簿から指導を受けたい講師に直接連絡



(イベント開催日時、指導内容等をご相談下さい)

講師の内諾をとり、申請書を県民会議へ郵送

(内容を審査し、派遣決定を行います)



講師への謝礼は当県民会議が支払います

実績報告書を県民会議へ郵送
写真を必ず添付



イベントの開催



専門の講師が丁寧に指導します。

書類提出先:〒400-0811 甲府市川田町517 山梨県立青少年センター内 (社) 青少年育成山梨県民会議

青少年健全育成とは・・・

青少年の健全育成ってどんなこと？と聞かれたら皆さんは何と答えますか？

具体的にこんなことですよとはなかなか言えないかもしれません。子ども達の育った家庭環境や生活環境が違う中で、健全育成のとらえ方もさまざまではないでしょうか。

まもなく単身赴任を控えた夫が一人暮らしをしている二人の息子に、今の自分の思いをメールしたそうです。長男はさらっと、そして大きな反抗期を通過してきた二男からは父親に対する感謝の気持ちを返信してきたようで、嬉しそうに見せてくれました。過去は現在までの糧、今、息子達は我が家なりに健全に育っているのかも・・・と胸が詰まる思いでした。

健全育成とは、単にあいさつができるとか、非行に走らないとか、そういうことばかりではなく、夢中で子育てしている時にはわからなくても、ふと気がついた時、子どもが元気であること、感謝の気持ちを持てること、そういうことなのかも……と、この頃思うようになってきました。

(北杜市:功刀美紀)

読者の声欄に投書を

本誌では、青少年の健全育成について読者の投書欄を設けています。下記まで郵送またはFAXでお送り下さい。
〒400-0811 甲府市川田町517 県立青少年センター内
(社)青少年育成山梨県民会議「やまなしの青少年」担当
FAX 055-237-5312

会員を募集しています

(社)青少年育成山梨県民会議は、山梨の次代を担う青少年の健全な育成のために、県民の皆さんが協力して活動に取り組むことを目的に発足した「青少年育成県民運動」の推進母体です。

この活動は会員の会費と、山梨県からの補助金によって支えられています。青少年の健やかな成長のために、会員になって県民運動を支えて下さい。会員には正会員と賛助会員があります。

正会員

当会議の目的に賛同していただく個人、団体の皆さんです。会費は、個人会員2,000円、団体会員3,000円をお願いしています。正会員は総会で議決権を持ちます。また、種々の事業に参加していただくこともできます。広報誌「やまなしの青少年」をお送りします。

賛助会員

当会議の目的に賛同して篤志寄附(賛助会費)をしていただく個人や企業、団体の皆さんです。賛助会費は年額1万円(一口)以上をお願いしています。広報誌等の各種資料をお送りしています。

ご協力いただいた会費は、青少年の健全育成・非行防止の推進などを目的とした事業に使わせていただきます。

◎お問い合わせ先

(社)青少年育成山梨県民会議事務局

(県立青少年センター内) TEL 055-287-6415
FAX 055-237-5312

困ったときに役立つサイト

携帯電話・インターネット利用でトラブルや被害にあったときの相談・連絡先

●山梨県警察本部サイバー犯罪対策係	055-235-2121
●ヤングテレホン(県警本部)	055-235-4444
●ヤングテレホン(富士吉田警察署)	0555-22-4444
●県民生活センター	055-235-1366
●県民生活センター地方相談室	0554-45-5038
●甲府市消費生活センター	055-237-5309
	http://www.kokusen.go.jp/soudan_topics/index.html
●警察庁インターネット安全・安心相談	http://www.npa.go.jp/cybersafety/
●インターネットホットラインセンター	http://www.internethotline.jp

携帯電話・インターネットを正しく安全に使うためのホームページ

●キッズパトロール(警察庁)	http://www.cyberpolice.go.jp/kids/
●迷惑メール相談センター	http://www.dekyo.or.jp/soudan/
●情報通信白書for Kids(総務省)	http://www.kids.soumu.go.jp/
●インターネットを利用するためのルールとマナー集(こどもばん)	http://www.iajapan.org/rule/rule4child/v2/
●警察庁サイバー犯罪対策	http://www.npa.go.jp/cyber/index.html
●警視庁「ハイテク・キッズ」	http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/hikids/hikids.htm

編集後記

暑い夏の真最中です。子どもが夏休み中に野外活動をする事は、いつの時代も必要な事と思うが、それには大人の理解が十分なければ出来ません。

山梨県教育委員会が、主催している「やまなし海洋道中」は今年で24回目が実施されます。大自然いっぱいの八丈島での体験は全国に先がけた素晴らしい事業で、豊かな人間性を育てる良い機会であり、その役割は

大きい。

私が推めている「県子どもグループワーク研究会」では、10月22日～23日愛宕山少年自然の家で、第2回自然体験活動リーダー養成研修会を開催します。明日の山梨を担い手として、県下の高校生、大学生の参加を期待しております。

未曾有の災害・東日本大震災の復興のためにも、青少年が生き生きと育つ環境を県民全体で作りに出していきたいと思います。 広報委員長 笠井 勲